

食農学類 DP ルーブリック

大項目	中項目	4 応用レベル	3 実用レベル	2 ミニマムレベル	1 スタートレベル	0 克服すべきレベル
I. 課題解決志向と実践的な専門知識 (DP1)	農学に関する専門的な知識・技能の理解。	専門領域（食品科学・農業生産学・生産環境学・農業経営学）における問題点や課題を十分に理解し、それらの解決に向けて計画と実践を適切に展開している。	専門領域における問題点や課題を理解し、それらの解決に向けて計画と実践を展開することができる。	専門領域における問題点や課題を理解し、それらの解決に向けて計画と実践を展開する知識や技能をもっている。	専門領域における問題点や課題を意識し、それらの解決に向けて計画と実践を展開しようとしている。	専門領域における問題点や課題を理解できず、それらの解決に向けた計画と実践をする意識をもっていない。
	農学に関する専門的な知識・技能について、関連産業や地域社会における具体的な取組の理解。	専門領域にかかる知識や知見が、関連産業や地域社会で具体的にどう活用され取り組まれているかを十分に理解し身につけている。	専門領域にかかる知識や知見が、関連産業や地域社会で具体的にどう活用され取り組まれているかを理解し身につけることができる。	専門領域にかかる知識や知見が、関連産業や地域社会で具体的にどう活用され取り組まれているか理解する知識や技能をもっている。	専門領域にかかる知識や知見が、関連産業や地域社会で具体的にどう活用され取り組まれているか理解しようとする意識をもっている。	専門領域にかかる知識や知見が、関連産業や地域社会で具体的にどう活用され取り組まれているか理解しようとする意識をもっていない。
II. 学際的な理解力とコミュニケーション能力 (DP2)	農学領域を超えた学際的な知識・知見の理解力。	専門領域を超えた領域における知識・知見を十分に理解し身につけている。	専門領域を超えた領域における知識・知見を理解し身につけることができる。	専門領域を超えた領域における知識・知見を理解する知識や知見をもっている。	専門領域を超えた領域における知識・知見を理解しようとする意識をもっている。	専門領域を超えた領域における知識・知見を理解しようとする意識をもっていない。
	農学領域を超えた学際的な知識・知見を活用したコミュニケーション能力の涵養。	専門領域を超えた領域における知識・知見を十分に活用し、チームワークなどを通して他者との十分なコミュニケーションをとり展開している。	専門領域を超えた領域における知識・知見を活用し、他者とのコミュニケーションをとり展開することができる。	専門領域を超えた領域における知識・知見を活用し、コミュニケーションをとることができる。	専門領域を超えた領域における知識・知見を活用し、コミュニケーションをとろうとする意識をもっている。	専門領域を超えた領域における知識・知見を活用し、コミュニケーションをとろうとする意識をもっていない。
III. 国際的な問題意識とグローバルな知見の応用力 (DP3)	世界の地域固有の課題の理解。	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題を十分に理解し身につけている。	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題を理解し身につけることができる。	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題を理解する知識や知見をもっている。	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題を理解しようとする意識をもっている。	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題を理解しようとする意識をもっていない。
	世界の地域固有の課題解決に向けた国際交流	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題	専門領域にかかる世界の地域固有の問題点や課題